

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	04	02	03	0403	ごみ処理事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-1	環境の保全			
	施策	4	循環型社会の構築			
目的	ごみの収集・運搬、処理					
対象	市民					
意図	ごみを適正に処理する。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="checkbox"/> 家庭ごみ分別表・カレンダー及びごみ分別大辞典作成配布 <input type="checkbox"/> 花巻市一般廃棄物処理基本計画の策定業務 <input type="checkbox"/> 花巻温泉郷廃棄物処理組合補助金 <input type="checkbox"/> 岩手中部広域行政組合負担金						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	ごみの収集量（委託）	t	計画	18,232	18,232	
			実績	18,413	17,842	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	ごみの排出量	t	目標	30,724	30,724	
			実績	32,616	31,499	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
ごみ全体の排出量は26年度と比較し減少したものの、家庭から排出される可燃ごみに占める生ごみとビニールの重量割合が依然として高いことから、より一層、生ごみの水切り徹底と資源物の分別徹底に向けた意識啓発や広報活動の強化に取り組む必要がある。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・ごみの収集、運搬及び処分は廃棄物の処理及び清掃に関する法律により市の責務とされているため妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	・資源化の推進によりごみ処理量を減量する余地がある。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・ごみの減量化により岩手中部広域行政組合負担金を削減する余地がある。
	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	・ごみ処理は全市民が対象となるので適正である。
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
ごみの適正分別・排出のため、分別表等の作成など本事業は必要である。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 市民生活部 課名 生活環境課 担当係長 藤原 拓也 内線 266

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	02	03	0403	ごみ処理事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		1,953,668	688,572		△ 1,265,096
財 源 内 訳	国・県				0
	地方債				0
	その他	60	220		160
	一般財源	1,953,608	688,352	0	△ 1,265,256

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部経営方針における目標
豊かな自然と生活環境を守り暮らしています

事業開始の背景・経緯

ごみを収集・運搬、処理するために本事業を開始。

事業概要

- 家庭ごみ分別表・カレンダー及びごみ分別大辞典作成配布
- 花巻市一般廃棄物処理基本計画の策定業務
- 花巻温泉郷廃棄物処理組合補助金
- 岩手中部広域行政組合負担金

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- ・平成27年10月から燃やせるごみを広域処理するのに伴い、出前講座等を実施し広く周知する必要がある。
- ・26年度中に施設整備が終了しなかったことから26年度の負担金を減額し、27年度に減額した分の負担金が追加で発生することとなる。
- ・ごみ処理手数料の決定は、単価等について現在検討中。

《事業手法の詳細》

1 家庭ごみ分別表・カレンダー作成等 5,282千円 (H26 4,364千円)

2 ごみ分別大辞典再販 6,154千円
→H25決算委員会、ごみ分別等住民説明会で要望あり。
H26.11月 振興センター単位で開催(参加者1,030名)
広域化に伴い、ごみの分別に変更があることから全戸配布するもの。
*前回作成：H19(全戸配布)

3 花巻市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の策定 2,429千円
○現行計画期間H18~27。H28~37計画の新規策定
【主な内容】
・一般廃棄物の発生量、処理量の見込み及び目標
・一般廃棄物の排出の抑制のための方策
・一般廃棄物の収集を行う種類
・一般廃棄物の適正な処理及び実施するための事項

廃棄物減量等推進委員審議会 129千円、策定業務委託 2,301千円

4 花巻温泉郷廃棄物処理組合補助金 11,000千円 (H26 11,000千円)
花巻温泉郷廃棄物処理組合が実施する廃棄物処理の経費に対する補助金交付

5 啓発用動画作成業務委託 940千円
ごみの減量化を推進することを目的とした啓発用DVDの作成

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	02	03	0403	ごみ処理事業

(単位：千円)

《事業手法の詳細》

6 岩手中部広域行政組合負担金 662,767千円 (H26 1,938,306千円)

- H27.10～岩手中部広域クリーンセンターの稼働に向けた建設費等の負担金
- H27年度から運営費が新たに発生
- ※震災復興特別交付税の対象となった場合、負担金に変更となるため、確定後補正対応

【全体】 (千円)

区分	H27決算	H26決算	増減額
負担金合計	662,767	1,938,306	△ 1,275,539
内訳			
総務費分	26,645	26,121	524
建設費分	604,392	1,911,061	△ 1,306,669
公債費分	2,601	1,124	1,477
運営費分	29,129	0	29,129

□総務費 (均等割2/10、人口割8/10)

区分	H27決算	H26決算	増減額
合計	66,273	64,969	1,304
花巻市	26,645	26,121	524
北上市	24,736	24,250	486
遠野市	10,060	9,862	198
西和賀町	4,832	4,736	96

□公債費 (人口割2/10、処理割8/10)

区分	H27決算	H26決算	増減額
合計	5,160	2,282	2,878
花巻市	2,601	1,124	1,477
北上市	1,808	816	992
遠野市	624	285	339
西和賀町	127	57	70

□建設費 (人口割2/10、処理割8/10)

区分	H27決算	H26決算	増減額
合計	1,198,341	3,880,061	△ 2,681,720
花巻市	604,392	1,911,060	△ 1,306,668
北上市	419,757	1,387,311	△ 967,554
遠野市	144,680	484,481	△ 339,801
西和賀町	29,512	97,209	△ 67,697

□運営費 (均等割1.5/10、処理割8.5/10)

区分	H27決算	H26決算	増減額
合計	84,090	0	84,090
花巻市	29,129	0	29,129
北上市	1,194	0	1,194
遠野市	45,740	0	45,740
西和賀町	8,027	0	8,027